

## はじめに

博物館の使命には、資料の収集と保管、歴史や文化財の調査と研究、資料の展示・公開と普及・活用といった様々な業務があります。なかでも資料の収集と整理業務は、博物館活動にとって基礎的でかつ重要な作業です。横浜市域および周辺地域の歴史や文化財の調査研究・収集保管・展示公開などを目的とする当館でも、資料整理には力を入れて取り組んでまいりました。

その成果として、当館ではこれまでに、『横浜市歴史博物館資料目録』を第30集まで刊行しています。そしてこのたび、第31集として、相模国鎌倉郡後山田村（現在の横浜市戸塚区川上町）の名主であった大山家文書の目録を刊行いたします。

同文書群の目録は、横浜市文化財総合調査会古文書部門による調査により、『横浜市文化財調査報告書 第23輯 相州鎌倉郡後山田村石井家・大山家文書目録』（横浜市教育委員会編刊 1992年）として公刊されています。そして同書の刊行後、平成5（1993）年に同家資料は、所蔵者の大山俊男氏より当館に寄託されました。このたび当館寄託分の整理を改めて進め、その成果を目録として公開いたします。

貴重な資料をご寄託いただきました、大山家の皆様に感謝申し上げます。

また横浜市歴史博物館では、次集以降も、当館が所蔵・保管する市域および周辺地域に関する資料について、順次調査・整理を進め、目録を公開してまいります。広くご活用いただけましたら幸いです。

令和5年3月

横浜市歴史博物館

館長 佐藤 信

## 凡 例

- 1 ここに収録した資料の目録は、平成 5 年に当館に寄託された相模国鎌倉郡後山田村（現在の横浜市戸塚区川上町）の大山家文書を、公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 横浜市歴史博物館が整理・調査した結果をまとめたものである。
- 2 本資料の目録は、すでに横浜市文化財総合調査会古文書部門による『横浜市文化財調査報告書 第 23 輯 相州鎌倉郡後山田村石井家・大山家文書目録』（横浜市教育委員会編刊 1992 年、以下『調査研究報告書 第 23 輯』）にも掲載されている。資料の分類・番号は、同書に倣った。
- 3 資料の排列も、『調査報告書 第 23 輯』に倣った。排列は、原則として編年順であるが、必ずしも編年順に配列していない場合もある。
- 3 原則として文書の原題を表題とし、原題のないもの、原題のみでは内容が判然としないものは、（ ）を付し仮表題および補題をつけた。
- 4 年代が明示されていないもので、内容などから推定できるものは、[ ] 内に推定年代を付けた。
- 5 形態は文書の物質的形状により、冊・綴・状等に分類した。
- 6 本書に掲載する大山家文書の整理は、石崎康子（当館主任学芸員）、鈴木美奈子による。編輯は小林紀子（当館主任学芸員）が行った。

## 資料解説

本目録『横浜市歴史博物館資料目録 第31集』は、平成5(1993)年に大山俊男氏より横浜市歴史博物館へ寄託された旧相模国鎌倉郡後山田村の大山家文書を所収する。資料の所蔵者である大山家は後山田村(現在の横浜市戸塚区川上町)の名主をつとめた旧家である。

同家の文書資料は『戸塚区史 区政五十周年記念』(戸塚区史刊行委員会編1991年)などに掲載・活用されている。また同文書所収の岡津村(現在の横浜市泉区岡津)、原田由右衛門が同地で経営していた寺子屋不及庵関係資料(番号:(7)教育 1・2)は、市域に残された貴重な寺子屋関係資料であり、その一つ、「対寺子制詞細目」は、『郷土よこはま』113・114号(教育委員会事務局図書館編1990年)にも紹介されている。資料の概略については、『調査報告書 第23輯』所収の内田四方蔵による解題を読みたい。

凡例にも記したが、今回、分類及び整理番号は、『調査報告書 第23輯』によった。

分類項目は、(1)支配、(2)村政・村況、(3)年貢、(4)土地、(5)証文、(6)寺社、(7)教育、(8)受取、(9)政治、(10)書簡類、(11)地図・絵図、(12)新聞、(13)古満家関係、(14)私文書、(15)その他、(16)版本・刊本・写本の16項目である。

戸塚区に関する資料群として残されているものには、鎌倉郡名瀬村の名主を務めた門倉保茂家文書(約5,700点)があり、横浜開港資料館で複製本を見ることができる。大山家文書は、935件(1,629点)を数え、門倉家文書同様、近世から近現代にかけての戸塚区域の歴史を知ることができる貴重な資料群である。

横浜市歴史博物館資料目録 第31集

発行日 令和5年3月

発行者 (公財)横浜市ふるさと歴史財団

横浜市歴史博物館

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-18-1

TEL 045-912-7777(代)